

授業改善推進プラン 【 2年 】

令和7年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)
国語	・学習に意欲的に取り組む児童が多い。 ・漢字練習に意欲的に取り組む児童が多いが、読み書きが十分に定着していない。 - また、文章の中で使う習慣も付いていない。 ・型の決まっている文章はスムーズに書ける児童が増えてきた。また順序立てて話したり、大事なことを落とさずに聞いたりすることは、身に付いてきている。自分の思いや考えを文章に書き表すことには個人差が見られ、まだ練習が必要である。	・反復練習により、まずは読みをしっかりと習熟させ、書き取りもできるように練習させていく。また、文章の中で漢字を使うように意識させ、さらなる定着を目指す。 ◎自分の思いや考えを自由に表現できるよう、ペア学習で発表の場を増やしたり、気持ちを表す言葉の種類が増えるよう繰り返し使うようにしたりする。 ・順序を表す言葉を意識させながら、文章を読んだり書いたり、また話したり聞いたりするように指導する。そのために、着眼点を明確にした活動を取り入れる。また、日記文や観察文など、既習の型の作文に継続して取り組ませることで、文章を書くことにも慣れさせていく。
算数	・意欲的に楽しみながら学習に取り組める児童が多い。 ・繰り上がり、繰り下りの計算方法を理解しているが、正確さに課題が見られる児童が多い。 ・長さや水のかさなどの単位換算、量感が十分に身に付いていない。 ・問題文を正確に読み取り、図や式などに表すことに課題が見られる児童が多い。	◎ペア学習で説明する活動を取り入れたり、図や式を使ったり、書かせたりして自分の考えを表現できるように指導する。 ・足して十いくつになる足し算や十いくつから一桁の数を引く引き算の計算を習熟させ、繰り上がり、繰り下がりのある筆算の計算が速く正確に解けるようにする。 ・長さの単位の換算や量感をつけるために、生活の中で実際に使う場面を設定し、繰り返し学習する。 ・学習者用端末などを利用したり、補習日を活用したりして練習問題に取り組み、基本的な学習内容の定着を図る。
生活	・町の様子や自然の特徴、身近な人々の存在などには気付いているが、自分との関わりと関連付けて考える力が十分でない。 ・体験して気付いたことや自分の思いを表現することが苦手である。 ・身近な人々や自分たちが暮らす町の様子、自然との関わりなど、様々な活動に意欲的に取り組んでいる児童が多い。	◎身近な自然や人々と関わる体験的な活動を重視し、児童の思いや願いを実現できるよう学習を進めていく。 ・身近な人々、自然と関わる中で、自分のよさや成長を振り返らせる時間を、毎回必ず設ける。 ・気付いたことや自分の思いを、体験前と体験後で比べたり、自分と友達との相違点を見付けたりするなど、考える視点を明確にして指導する。
音楽	・歌に親しみ、すすんで歌うことがとても意欲的にできる児童が多い。リズムあそびや身体表現で拍感や音感を養う活動をすすんで行っている。 ・歌詞から気持ちを考えたり、その気持ちならどのように歌えばよいか考えたりする児童が多い。 ・鍵盤ハーモニカの学習に意欲的に取り組み、運指とタンギングのコントロールを工夫しながら楽しく練習している。	◎基礎的な技能の定着を図るとともに、音や拍を感じて体を動かす楽しさや、音楽を聴いてよさや面白さを味わうことができるようにする。 ・身体表現を取り入れるなどして、表現することの楽しさを味わえるようにする。 ・身近な人々、自然と関わる中で、自分のよさや成長を振り返らせる時間と、どのように表現するとよいのか考える活動を取り入れる。 ・鍵盤ハーモニカの指導では、メロディーを歌うことで、音楽の特徴に気付き、響きを聴くことで美しい音色を体感していくようにする。ステップアップとして、指使いや、基礎的な技能の定着を図る。
図工	・自分の感覚や行為からは、造形的な特徴に気付きにくい児童、はさみやのりの扱いや紐の結び方等の基本的な技能がまだ身に付いていない児童がいる。 ・表したいことや表し方について、楽しく発想し、構想することができる。 ・友達の作品から見方や感じ方を広げ、発想を共有することができる。 ・楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。	◎基本的な技能の繰り返し学習を丁寧に行う。 ・発想や構想が苦手な児童の個々の対応を丁寧に行う。 ・児童の興味関心を大切に、表現することの楽しさを感じられる題材を設定する。 ・筆、はさみ、のりなどの用具を繰り返し使うように題材を工夫し、学習に取り組ませるとともに、紐、画用紙、プラスチック、竹などの材料を偏りなく様々なものに触れさせる。
体育	・運動をすることが好きな児童が多く、どの運動にも意欲的に取り組んでいる。 ・経験の少ない運動も、挑戦してみることでコツや方法を身に付けられるようになってきた。	◎自分のめあてを選ぶと同時に、振り返りを行うことで自分ができるようになったことと新たな課題を考えさせる。 ・場の設定を工夫し、様々な動きを経験できるようにさせる。 ・工夫して活動させるために、動きを見合ったり学習カードを活用したりする。 ・更に楽しみながら活動できるようにさせるために、ゲーム形式の活動やごっこ遊びを取り入れる。
特活	・学級内の当番や係活動には積極的に取り組める児童が多い。 ・学級会の進め方を身に付けてきている。また、自分の意見を意欲的に言う児童が増えてきた。	◎よりよい生活を楽しむために、話し合いや意見交換などの対話を大切にすること。 ・当番での活動や正しい行動が称賛される場を設けることで、さらに意欲的に取り組めるようにする。 ・学級会の活動の振り返りを行い、必要に応じた指導や助言を行っていくことで年度末までに、上手な話し合いをできるようにする。
道徳	・教材等をもとに、自分の考えを発表できる児童が増えてきている。 ・登場人物の心情を考え、道徳的価値を理解できる児童が多い。 ・友だちとの意見交流を通し、友だちの考えを参考に自分の考えをまとめることができるようになってきている。道徳的実践力が身に付いてきている。	◎B「主として人との関わりに関すること」を重点に指導する。教材の場面を考えやすいように、提示の方法を工夫したり、友達の考えを聞いたりすることによって、様々な考え方や思いがあることに気付かせていく。 ・考えや思いを理解するために役割演技などを取り入れ、自分のこととして考えられるようにする。 ・具体的な場面を想起させるようにしながら自分自身のことを振り返らせ、今後どのような言動をとればよいかを考えさせる。